

2026年度 学芸大数学教育研究会のお知らせ

早春の候、皆様にはますますご健勝のことと存じます。

下記の要領で2026年度の研究会を開催いたしますのでご参加くださいますようお願いいたします。本会の開催について、対面とZoomによるオンラインのハイブリッド開催となります。なお、オンライン配信につきましては、映像や音声に乱れ等が生じる可能性がございますこと、あらかじめご了承ください。出欠については、URL (<https://forms.gle/Lrgm4V9YSEW3zRdZ6>) から、2026年度出欠連絡のGoogle formにアクセスし、**6月20日(土)**までに出席のご入力をお願いいたします。

※ただし、グリーンブックに投稿を申し込まれる方は、上記のURLから回答を進めていくとタイトルを入力する欄があります。申し込み締め切りが**4月10日(金)**となっておりますのでご注意ください。

Zoomでご参加の方には、開催日が近づきましたら、ご記入いただいたメールアドレス宛に、本会参加のためのZoomのURLをお送りいたします。Zoomのアプリケーションをお持ちでない方は、ダウンロードしていただきますようお願いいたします (<https://zoom.us/download>)。

記

1. 日時 2026年6月27日(土) 12:45~17:10

2. 場所 東京学芸大学 (二十周年記念会館) (予定) / オンライン

3. プログラム

(1) 開会の挨拶 12:45~12:50

(2) 修士・博士論文発表予定 12:50 ~15:40

(修士:発表15分・質疑応答5分 計20分 博士:発表30分・質疑応答10分 計40分)

※教職大学院では、「課題研究」の執筆が必須、修士論文に相当する「専門学術論文」の執筆は選択制となっております。

【専門学術論文の部】

12:50~13:10 岸田朋也

一般性の認識における擬変数の出現とその役割に関する研究
—「パターン一般化問題」に焦点を当てて—

13:10~13:30 佐藤太温

算数科授業における表現と表現同士の関係に関する研究
—Presmegの三項入れ子モデルを用いて—

13:30~13:50 住川萌

図形を表す方程式の理解に関する調査研究
—文字の解釈に焦点をあてて—

13:55~14:15 矢作建太
中島健三の「集合の考え」に関する研究
—数学教育現代化期における授業実践に対する講評記録を史料として—

14:15~14:35 浅生陸
中学校数学科の授業における正当化に関する研究
—論拠の裏付けに着目して—

【博士論文の部】

14:35~15:15 福嶋卓海
学校数学における数学的モデル化能力の育成を目指した学習指導に関する研究
—「モデルの汎用化」に焦点をあてて—

【ポスターセッション】

15:20~15:40 日高 竜貴
「四角形の角の二等分線でできる四角形」の探究に関する一考察
—数学的探究における問題の発見に焦点を当てて—

15:40~15:50 休憩 10分

(3) 講演 (講演 60分・質疑応答 15分 計 75分) 15:50~17:05
明星大学 客員教授・明星小学校 教諭 笠井健一 先生

(4) 閉会の挨拶・諸連絡 17:05~17:10

17:10 終了予定時刻

(5) 今後の運営方針について/近況報告会 17:10~

4. 会費について

会員の皆様には、2026年度会費として3000円を集金させていただきます。

振込をご利用される方は、「2026年度学芸大数学教育研究会の会費納入のお願い」に記載されている銀行口座にお振り込みお願いいたします。お手数をおかけしますが、6月20日(土)までに会費をお納めください。なお、対面でご参加される方につきましては、年会費を会場にてお支払いいただくことも可能です。

2026年度幹事一同